

令和元年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞作品

変わるんだ ボクラの未来 いじめゼロ

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

五所川原市立東峰小学校
 4年 葛西 健太郎
 (※受賞当時の学校と学年です)

～生涯を通じた学び、スポーツ・文化活動の推進～

特別支援学校のスポーツ活動充実に取り組んでいます!!

Special プロジェクト 2020

特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業

県教育委員会では、障害のある児童生徒が、障害の有無にかかわらず、地域社会において、卒業後も生涯を通じて教育やスポーツ・文化活動等に親しみ、幸福で豊かな生活を営むことができるように、地域の方々の協力を得ながら、特別支援学校間の様々な交流を通じて、生涯学習の基盤づくりに努めています。



青森県特別支援学校総合スポーツ大会(プレ大会)

※各競技種目のピクトグラムは、青森県立青森第二高等養護学校の生徒がデザインしました。

県内の特別支援学校(知的障害・肢体不自由・病弱) 中学部、高等部生徒が、一堂に会してスポーツ大会を開催し、日頃の練習の成果を発揮しています。また、経験の有無にかかわらず、やってみたい種目を体験することができる「チャレンジ競技」も準備し、多くの生徒がスポーツに親しむことができる良い機会になっています。

昨年度は、新青森県総合運動公園を会場にプレ大会を開催し、500名以上の選手が競技に参加しました。



今年度の予定 令和2年度 青森県特別支援学校オンラインスポーツ大会 ※仮称

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、県内各地の特別支援学校をオンラインでつないでの対戦を予定しています。

〈予定競技種目〉
 フライングディスク
 ボッチャ
 バスケットボール
 バレーボール

開催期日
 R2.9.24 (THU)

地域における生涯学習の基盤づくり

県内の特別支援学校(知的障害・肢体不自由・病弱)では、定期的(年間数回)に地域のスポーツクラブの指導員や障害者スポーツ指導員を招き、体育の授業や部活動等において楽しく体を動かすことを通して、障害者スポーツ等の技術の向上を目指し取り組んでいます。バスケットボール、サッカー、ボッチャ、フライングディスク等の競い合う種目だけではなく、ヒップホップダンス、エアロビクス等の日常的に体を動かす活動にも取り組んでいます。このような取組が、生涯を通じてスポーツに親しむことに加え、地域とのつながりをつなぐものにし、生涯学習の基盤づくりにつながると考えています。

